



発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会



作：仙波 富子会員

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 ホームページ：http://www.akishima-sc.or.jp/

会員数	男性	女性	合計
(平成30年11月26日現在)	794人	313人	1,107人



新年のご挨拶

会長 光富 宏規

あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、「ご家族皆様と健やかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素は、シルバー人材センター事業に対しまして格別のご理解、ご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国においては少子高齢化が進展し、生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者は多く、シルバー人材センターへの期待は一層大きなものになっていきます。

本年は、安全と適正就業に配慮して、会員増強と就業機会の拡大を図るため、センター一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

センターは、お客様あつての事業です。地域のお役に立つ仕事に誠実に就業し、信頼を得ることが発展と存続の本源であります。

本年も、市民の皆様から必要とされるセンターになることを目指してまいります。ご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆様にとりまして、ご健勝で希望に満ちた幸多い年でありますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



新年号に寄せて

昭島市長 白井 伸介

明けましておめでとうございます。

日頃より市政に対しまして特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。現在、市では「訪れてみたい、住んでみたい、そして住み続けたい、ここで生業なりわいをしてみたい、生業なりわいをし続けたい 昭島」の実現に向けたまちづくりを進めています。

会員の皆様方におかれましては、これまで培われた経験を生かし、引き継がれてきた英知や情熱を大切にされ、「自主・自立」「共働・共助」のシルバー人材



年頭にあたり

副会長 糟谷 修子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にとりまして、健康で幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

さて昨年を顧みますと「生活支援サービス・シルバー派遣事業」が事業実績の拡大に大きく繋がっております。また会員数もこのところ上向き傾向にあり、大変うれしく思っております。特に女性会員が待望の300名となり、これを何とか維持出来ればと思っております。

本年もご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

常務理事 奥村 礼二郎

新年あけましておめでとうございます。

少子高齢化で多様化し、時代が変化するなか、シルバー派遣事業や生活支援サービスを確実に一歩一歩前進させ、事業拡大に全力で取り組んでまいります。

就業依頼の増加に対応するには、「会員増強」が不可欠です。就業会員の皆様にも就業開拓カードを名刺代わりに積極的な活用をお願い致します。

今ある仕事に感謝しながら、知識と経験を生かし、地域に役立つ誠実な就業をして、信頼を得ることがセンターの発展につながります。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



センター事業の理念のもと励んでいたきたいと存じます。市民の誰もが住みなれた地域とともに支え合い、助け合い、安心して充実した生活を続けていくことができる地域福祉社会の形成に、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人昭島市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方、ご家族の皆様のご多幸とご健康、ご活躍を心からご祈念いたしまして、新年に寄せるご挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

昭島市議会議員 木崎 親一

平成31年の年頭に当たりまして、昭島市シルバー人材センターの皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和50年に都内で2番目の高齢者事業団として設立されて以来、長きにわたりご高齢の方々の社会参加と地域社会の活性化に多大なるお力添えを賜っておりますことに、心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、少子高齢社会、人口減少時代を迎えた我国において、元気で就労の意欲にあふれる高齢者、いわゆる「アクティブシニア」を持つ、豊かな知識と経験、労働力を地域で存分に活かしていただくための「場」を提供する貴センターの役割は、大変意義深く、さらに重要となっております。昭島市議会といたしましても、皆様方と共に手を携え、ご高齢の方々の働く機会の確保と福祉の増進のため、なお一層の努力をいたしてまいります。

結びに、昭島市シルバー人材センターの益々のご発展、並びに、会員の皆様方、そしてご家族の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。市議会を代表いたしましての新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

総務部会長 奥山 毅

新年おめでとうございます。

会員の皆様には、良い年をお迎えのことと存じます。ここ数年、当センターの契約金額は緩やかに伸びてきておりますが、会員数は1,100人前後で停滞しております。契約金額と会員数は車の両輪のように密接に関係し、契約金額が伸びれば会員数も安定的に伸びるのが望ましい姿です。今後、労働人口不足による企業の雇用継続年齢等の引き上げにより、会員を増強するには厳しい環境になることが予想されます。有効な手立てを講じて会員増強に鋭意取り組んでまいります。会員皆様のご協力もよろしく願います。結びに、今年も一年、健康に気を配りながら、ご活躍されますようお願いいたします。



マナーが大事

事業部会長 長澤 邦雄

あけましておめでとうございませう。本年5月から新たな年号となります。昭和世代のシルバー会員の皆様、おおいに活躍する年にしましょう。

仕事や地域での奉仕活動は、健康維持になると思います。働く上で大事なことは接遇です。接遇をしっかりと行うことが信用、信頼に繋がります。次の仕事にも繋がります。

本年も接遇研修、就業に必要な各種研修会、事業計画にある新規就業先開拓、シルバー派遣事業、ボランティア活動等の推進を積極的に行っていきま

す。何卒ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。



理事会だより

10月定例理事会（10月29日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性6名、女性7名、計13名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について17件延26名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 会長、副会長及び常務理事の職務執行について、報告がありました。
- ・ 広報委員会より、11月10日～11日の昭島市産業まつりのブース役割分担表の最終提示があり、会員増強検討委員会などからの了解が報告されました。
- ・ 安全管理委員会より「年末年始無災害運動」（12月15日～1月15日）について、「安全だより」（12月号）の発行、ヒヤリハット体験事例の募集などを行うことが報告されました。
- ・ ふれあい祭り実行委員会より、台風24号接近による中止について、諸事情、諸状況の報告があり、今後の参考とすることとなりました。

11月定例理事会（11月26日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性7名女性2名計9名の入会が承認されました。

- ・ 就業基準に基づく再契約について216件延1,020名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 総務部会より平成30年度第2回理事・地域班長会議及び役員研修の日程について、3月8日(案)、3月7日(案)があり、現在調整中であることが報告されました。
- ・ 事業部会より平成30年度企業訪問について、11企業の訪問先を決定したとの報告がありました。日程については、1月下旬を基本として調整しています。
- ・ パトロールボランティア実行委員会より東京都発行の「子供見守り活動事例集」の拡大コピー版を、希望するパト・ボラ会員に配布することが報告されました。
- ・ また、10月に行った全体パトロールについて、瑞雲中地区については12月に実地予定との報告がありました。

年度会費のお知らせ

平成30年度の会費の有効期限は平成31年3月31日までです。

平成31年4月1日なりますと、翌年度の会費等（2,800円）が発生します。退会をお考えの方は平成31年3月29日までに事務局へ退会届の提出をお願いいたします。

※3月30日（土曜日）・31日（日曜日）は事務局はお休みです。

接遇研修が開催されました

11月20日・22日の2日間、当センターにて、接遇研修が行われ、延157名が参加しました。

当センターの仕事はすべてサービス業になります。接客を必要とするサービス業では接遇は必要不可欠です。

今回の研修は、主に民間企業で接客を必要とする仕事に携わる方が対象でした。

講師は合同会社アップグロースの栢野かんの先生で「接遇の基本」から始まり、コミュニケーションの誤解が引き起こす要因を事例を織り交ぜながら、わかりやすく説明していただき接遇について、より一層理解を深めました。

今ある仕事を大切に、今後も仕事を継続していただけるように、今回の研修をいかして就業していきましょう。

接遇研修は毎年、定期的に行っています。

今回は2月、主に公共の仕事に携わっている方を対象とした研修を予定しています。



安全管理委員からのお知らせ

交通安全講習会

11月19日、当センターにて、交通安全講習会が開催され、延47名が参加しました。この講習会の目的は会員一人ひとりが、常に安全に気をつけ、事故なく、活動し続けられるようにしていただくことです。



まず、光富会長のあいさつがあり、講習が開始されました。

テーマは自転車の安全な乗り方です。講義及び実技講習は昭島警察署交通課石田統括係長にお願ひしました。自転車事故の大半が高齢者であること、また、電動アシスト自転車の事故が最近増えていること、その事故事例をあげて、説明をいただきました。その主な原因は、一時不停止と安全の未確認です。

講義終了後、当センターの敷地内で実際に会員が自転車に乗り、実技講習をしました。頭と体は別物の年齢であり、常に危険と隣り合わせであることを確認しました。交通规则を守り、自転車の乗り方や点検整備に、今一度気配りを。

冬期の転倒事故防止

冬は、転倒事故が多発する時期です。当センターにおける過去5年間（平成25年

度～平成29年度）の傷害事故は、12月～1月が最も多く、全体の約40%になり、その中でも、転倒事故が70%を占めています。

また、平成29年度では、雪による事故が5件（歩行中3件・自転車2件）発生しています。今年の冬は、暖冬との予想ですが、大雪が降る可能性もあるとのこと。雪が積もったり、路面や階段が凍結していると、転倒事故につながります。滑りやすい路面では転びづらい歩き方をマスターしましょう！

転びづらい歩き方のPoint

1. 小さな歩幅で歩く。
2. 靴の裏全体をつけて歩く。
(踵から地面に着地する)
3. 急がず焦らず余裕を持って歩く。

準備体操について

安全管理委員会では、前年度より準備体操の啓発活動を積極的に進めています。しかし、安全就業巡回点検の結果を見ても、まだ就業前の準備体操の周知は不十分だという結果が出ました。

冬の時期は、体や関節が硬くなってきますので、より一層準備体操が重要になってきます。筋肉をほぐし、関節の可動域を高め、ケガを防止するために、準備体操を推進する活動を引き続き行っていきます。ご協力、よろしくお願ひします。

パトロールボランティア(パト・ボラ)

活動報告―拝島第三小学校編

緑町 戸田 治夫

拝島第三小学校のパト・ボラ活動は、低学年の下校時間に校門前に集合し「さようなら」と声をかけ、見守りをします。子どもたちは、「さようなら」と挨拶する子、学校で作った作品を見せる子、どこかで捕まえた昆虫を見せる子、ハイタッチをする子、知らない顔をする子、とさまざまで見ていると楽しいものです。

しかし、現在のパト・ボラ登録会員は、高齢化による退会や、新規会員登録の減少などで少なくなってきました。私は、就業先等へ行く際、「腕章」をつけるようにしています。

その理由は、「腕章」をしているとシルバー会員としての意識が高まり、交通规则を守り、事故の防止になるからです。公益社団法人の会員として、誇りを持って一緒に活動しましょう。



左から網野会員、横田会員、戸田会員、遠藤会員

就業体験記①

カインズ園芸コーナーの水やり

つつじが丘 奥山 悦子よしこ

カインズ昭島店の園芸コーナーで、開店前に商品の花や植木に水やりをするのが私の仕事です。ローテーション就業で週2回、朝7時から9時までの2時間を1人で行ってます。屋外の仕事なので雨の日はお休みになります。良い天気でも、雨が降ったら30分で打ち切りなんてこともあります。冬になると夜間、ほとんどの草花を室内に入れますのでお天気の心配は減ります。



花の量が多い時期や野菜の苗が入荷する時期は、とても忙しく、すべてに水をやるのも一苦労です。逆に花の量が少ない時期は、念入りに花の手入れをすることができます。

2時間のお仕事ですが、とても楽しく過ごしています。

就業体験記②

家事援助サービス
高齢者宅の清掃等

大神町 山本 真知子

5年前、昭島市への転居を機にシルバー人材センターへ入会を決めました。入会後は家事援助班に入りました。



初級者講習では会員コーディネートナーによる寸劇形式で仕事の流れと心得を拜見でき意義深い学びでした。

私の初就業は調理でしたが不慣れのため体調をくずし退会を考慮していました。

そんな時、先輩から「続けましょう！就業回数を重ねれば大丈夫、一緒に頑張りましょう！」の励ましで、今日に至っています。最近、高齢者宅の清掃が主です。

私の元気の源は「来週もお願いね」の声に支えられていることです。

就業体験記③

ヤマト運輸
荷物の仕分け作業（派遣）

つつじが丘 小山 勝正

昨年の4月から4人のメンバーで朝5時から8時の3時間をシフト制で行っています。

この仕事は派遣のため発注者の指揮命令を受けて働いています。私は定年後の体力維持と社会との関わりを持つていたいと思い、この仕事を選びました。週に2度、楽しく働いています。



仕事内容は集荷場に集められた荷物を市内の町名ごとに仕分けをします。最初は覚えることが多く、慣れない作業のため時間がかかり戸惑いました。

最近は慣れてきたため、スムーズに仕事ができるようになりました。職場の皆様のおかげです。社会の人手不足解消の一員となれるようがんばります。



ちよつといい話

「シルバーお抱えの漫画家」を
自称する福田たけしさん

会報「いずみ」の4コマ漫画「がんばれシルバー」は、平成22年新年号から連載され、今号で丸9年になります。



作者の福田たけし(武)さんは、現役時代から月刊誌に4コマ漫画を定年まで15年間描き続けたというプロ並みの腕を持つベテランの



センターのいろいろなものに福田会員のイラストが使用されています。

アマチュア漫画家。シルバーの会員になってからも、会員募集のポスターをはじめ会員の帽子やパンフレットの挿絵など幅広く手掛けています。
この2月で83歳になりますが、「認知症の予防には漫画のアイデアを考えるのがイチバン！」とメモ帳を片手に今日もがんばっています。

編集後記

◎干支のしめくり、亥年の始まりなんですがね。イノシシの世界ではコレラが流行中だそうで、この混乱が人間界に飛び火しないで欲しいもの。シルバーを取り巻く環境ともども、難儀な船出の覚悟が必要なようです。

岡 裕美

◎「人生の終い方」、難問です。その日は誰にも平等に、必ずやってきます。残り少ない時間を、どう過ごすか？「シルバー」での就業や地域活動等で多くの人と交流しながら、日々忙しがっている内に逝ければと！

栗原 輝雄

◎最近、富士山の撮影を始めました。頭に雪をかぶった美しい姿を見るのが楽しみです。新年になっ

て、さらに元号が変わっても、美しい姿を見せてくれることを祈っています。

藤橋 忠悟

◎干支12番目最後、平成も最後の年になります。「猪も七代目には豕(ぶた)になる」諺の通り、長い年月をかければ、どのようなことでも変化するはずですが、本紙はどう変わってきたのでしょうか？

折居 弘昭

◎今年は猪突猛進。と言いたいたいところですが、昨年一年早く走り過ぎて体調不良になり就労や広報委員会にご迷惑をおかけしました。己を過信し過ぎず我が道を行く牛歩戦術で一歩づつ進んでいきたいと思えます。

平井 由子

◎六十の手習い。新しいことをふたつ始めました。日々、健康で楽しみなが長く続けたいと思います。また、広報委員として色々な方との出会いやご縁に感謝をして今年も取り組んで行きたいと思えます。

山本 晴子

「就業相談の日」
毎月第1火曜日
◇9:30~11:30
センター事務所 2階
※担当理事が相談をお受けします





産業まつりでスーパーボールすくいとマスク等を配ってセンターをPR



月刊シルバーより生活支援サービスについて取材を受けました。



家事援助サービス講習、健康講座初の血管年齢測定を実施。



筆耕講習会、今回は初級対象。

交通安全講習会、自転車を使う場面も



新入会員募集中!!

ご紹介いただいた会員の方に粗品をプレゼント

入会者をご紹介ください。入会受付時に紹介した会員の氏名を書いていただきますので、必ずご記入するようにお伝えください。

30年度安全就業標語 テーマ：就業途上の安全確保（事故防止）

急ぐほど 遠のく安全 せまる危機